



H 発見! 広島湾の魅力

平成23年度に開催した「広島湾の魅力と課題を語るワークショップ(宮島・廿日市会場、呉会場)」では、あまり知られていない広島湾の魅力資源について参加者とともに話し合いました。ここでは、皆様から寄せられた広島湾の魅力資源の一部をご紹介します。(場所はパンフレット裏面のマップをご覧ください)

自然・景観

<p>① カキ筏</p>  <p>宍戸湾から見えるカキ筏の風景は、広島県ならではの魅力です。</p>	<p>② 弥山山頂からのパノラマ景観</p>  <p>宮島弥山山頂からは、多島美が広がる360°のパノラマ景観が味わえます。</p>	<p>③ 元宇品</p>  <p>元宇品は広島湾にある瀬戸内海国立公園特別地区で、豊かな自然が残されています。</p>	<p>④ 江田島の砲台施設跡</p>  <p>江田島の砲台山には、日露戦争時に国内最大砲であった砲台施設跡が残されています。</p>
---	---	--	---

歴史・文化

<p>⑤ 宮島 七浦巡り</p>  <p>宮島では、七浦に祀られてある神社に祈願する神事が古くから行われています。</p>	<p>⑥ 安芸白石灯標</p>  <p>広島湾には明治時代に建設された灯台が多くあり、阿多田島沖にある安芸白石灯台もその一つです。</p>	<p>⑦ 戦艦大和のふるさと(旧呉海軍工廠)</p>  <p>戦艦大和を建造したことで有名な旧呉海軍工廠は、現在もほとんど当時のままの姿が残っています。</p>	<p>⑧ 音戸のコンクリート船</p>  <p>旧海軍が、船舶建造用鋼材の不足を考慮して製作したコンクリート船が、防波壁へと姿を変えて残されています。</p>
--	--	---	--

観光・レクリエーション

<p>⑨ 宮島の町家通り</p>  <p>宮島美歩商店街裏の町家通りには、「判じ絵」と呼ばれる灯籠が家や店の前に展示されています。</p>	<p>⑩ 宮島の潮干狩り</p>  <p>厳島神社大鳥居の外側に広がる干潟では、春になると無料で潮干狩りを楽しむことができます。</p>	<p>⑪ 呉港に停泊している潜水艦</p>  <p>呉港には海上自衛隊の基地があり、潜水艦が停泊している様子を見ることが出来ます。</p>	<p>⑫ 音戸大橋と第2音戸大橋</p>  <p>音戸の瀬戸には新たに「第2音戸大橋」が建設されており、音戸大橋と並んだその姿は壮観です。</p>
--	---	--	--

祭り・イベント

<p>⑬ 管絃祭(厳島神社)</p>  <p>旧暦6月17日に行われる管絃祭は、平安松琴を思わせる、海に囲まれた宮島ならではの破瀬な祭りです。</p>	<p>⑭ 宮島水中花火大会</p>  <p>船から海中に投げ込まれた水中花火は、大鳥居や厳島神社の社殿を幻想的に浮かび上がらせます。</p>	<p>⑮ 御隠衣祭(地御前神社)</p>  <p>宮島列島の地御前神社で旧暦の端午の節句に開催される御隠衣祭では、舞臺が奉納され流鏝馬神事が行われます。</p>	<p>⑯ 音戸清盛祭</p>  <p>平清盛を称ぶ百石格式の人名行列「音戸清盛祭」が、5年に1度開催されています。</p>
---	--	--	---

広島湾再生推進会議

組 織：国土交通省 中国地方整備局、海上保安庁 第六管区海上保安本部、農林水産省 中国四国農政局、林野庁 近畿中国森林管理庁、経済産業省 中国経済産業局、環境省 中国四国地方環境事務所、広島県、山口県、広島市

<p>陸域対策分科会</p> <p>下水道整備、流域の汚濁負荷削減対策、良好な海域環境を育むための流域環境の保全等に関すること。</p>	<p>海域対策分科会</p> <p>藻場・干潟等の保全・再生、底質の改善、水質浄化対策、バリアックアクセスの確保及び景観・海域環境の保全等に関すること。</p>	<p>モニタリング・環境教育分科会</p> <p>海域環境の保全に資する、環境のモニタリング、清掃美化活動、環境教育の推進等に関すること。</p>
---	---	--

広島湾再生行動計画に関するご意見、お問い合わせはこちらをお願いします。

国土交通省 中国地方整備局企画部 広域計画課

〒730-8530 広島市中区上八丁堀6-30
TEL 082-221-9231
FAX 082-511-6359



広島湾再生プロジェクト ホームページ
<http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/hiroshimawan/>

私たちの広島湾を次世代へ

広島湾再生 行動計画

HIROSHIMA BAY RENAISSANCE PROJECT

豊かな恵みや歴史・文化を育む広島湾

広島湾は瀬戸内海西部の、倉橋島や周防大島に囲まれた海域で、平均水深は約26m、面積は1,043km²に及びます。広島湾には広島デルタを形成する太田川や、山口県の清流錦川等が注ぎ、その流域面積は3,743km²で、ここには両県の総人口の約42%にあたる約180万人が暮らしています。

広島湾は港湾や工業地帯として高度利用されている都市部の沿岸域、日本一の生産量を誇るかき養殖が行われている海域、多島美の景観を呈する南部海域等、多方面から私たちに多くの恵みをもたらしています。

また、世界遺産宮島を始めとする歴史、文化的資源にも恵まれ、多くの人々が訪れるところです。この豊かな広島湾をわたしたちは次世代に受け継いでいかなければなりません。



広島湾再生行動計画とは？

広島湾の良好な環境の再生を目指し、行政や地域住民が連携して環境保全・再生に関する取り組みを総合的に推進するための「広島湾再生行動計画」を平成19年3月に策定し、平成28年度までの10年間の目標に、これを推進していくこととしています。

広島湾再生行動計画では、以下の目標を設定しました。

～広島湾再生行動計画における目標～

森・川・海の健やかな繋がりを活かし、恵み豊かで美しく親しみやすい「広島湾」を保全・再生し、次世代へ継承する。

<個別目標>

目標1 森・川・海の健やかな繋がりを活かし、豊かな広島湾を保全・再生する。

森・川・海の連携した対策により、様々な利用に適した水環境の再生を進めていきます。また、生物の生息の場である干潟・藻場などの浅場も可能な限り保全・再生していきます。

目標2 人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。

魅力ある親水空間の創出や、親水空間の利用を活性化することで、広島湾に対する人々の関心を高め、広島湾の保全・再生に積極的に参加できるような環境を目指します。

目標3 宮島などの魅力ある自然景観・歴史・文化を活かし、美しい広島湾を保全する。

広島湾に存在する宮島をはじめとする豊富な自然景観・歴史・文化的資源を地域と連携して保全し、美しい広島湾を次世代へ継承していくことを目指します。

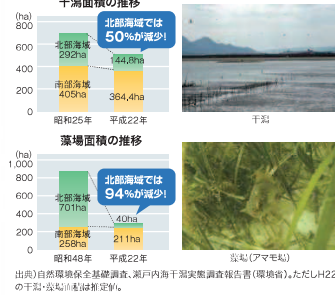
広島湾の抱える問題について

水環境の問題

北部海域では、有害プランクトンによる**赤潮の発生**や、夏季になると海底付近に**貧酸素水塊**※が発生しています。
※貧酸素水塊・・・酸素濃度が低下した海水の塊が広い範囲に発生している状態のこと。海面に住む生物に影響を及ぼします。

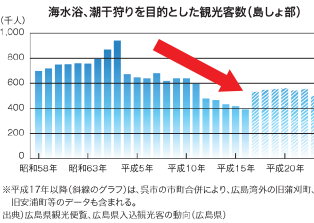
生物多様性環境の問題

海の生物のすみかとなり水質浄化の働きをする**干潟・藻場**などの浅場が、**北部海域では特に減少**しています。



親水空間と水辺の触れ合い機会の問題

沿岸部では**親水空間が減少**しており、島しょ部などでは、**海との触れ合いを目的とした観光客が減少**しています。



自然・歴史・文化に関する問題

海面や海岸の**漂着ごみ**により、**自然景観の悪化が懸念**されています。



広島湾再生行動計画 第2回中間評価の結果

平成25年度に、広島湾再生行動計画の第2回中間評価(平成24年度末時点)を行いました。中間評価では、それぞれの目標ごとに定められた、施策の実施状況を表す「**行動指標**」と、広島湾の改善状況を表す「**状態指標**」により、その達成状況を評価しました。(個別の評価結果については、パンフレットのウラ面に記載) 中間評価の結果、ほとんどの指標で、施策が計画どおり進捗しており、その効果も現れつつあることが確認されましたが、以下のような課題について、今後取り組んでいく予定です。

主な課題

- 広島湾の保全・再生の活動を市民に広く知ってもらうための取り組みや、**市民団体・NPO など多様な主体の参画による保全活動の実施**
- ごみの漂流・漂着や不適正処理による海の景観・環境悪化に対応するため、**行政や市民団体・NPO などによる継続的な広島湾の保全の取り組みの実施**

広島湾における市民団体・NPOによる活動の例

広島湾再生推進会議では、市民団体・NPO など多様な主体の参画による保全活動の推進するため、広島湾再生のための連携に向けた意見交換会を実施しています。意見交換会に参加している市民団体・NPOが様々な環境保全活動が行っており、その一例をご紹介します。一般の方も参加できる活動やイベントもたくさんありますので、ホームページを通じて市民団体・NPOの活動を紹介したり、イベント情報を掲載するなどの支援をしていきます。

なお、今後ご協力頂ける市民団体・NPOの活動についても、今後ホームページでの紹介を検討しています。(http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/hiroshimawan/)

エコロジー研究会ひろしま



<活動紹介>
川に「学ぼう」「触れよう」「楽しもう」をテーマに、小・中学生を対象に「太田川せせらぎ学習習熟」を開催。水質調査・生物観察・水辺の安全教室・カヌー教室等体験学習を行っています。2002年12月には「太田川せせらぎ学習塾副読本・We Love 太田川」を出版するなど、川での活動を積極的に取組んでいます。
<お問い合わせ先>
TEL:082-240-3420
エコロジー研究会ひろしま(瀬川)

環境省 中国環境パートナーシップオフィス (EPOちゅうごく)



<活動紹介>
中国地域において環境保全の意欲を高め、環境教育やパートナーシップによる課題解決をめざして、NPO・市民・教育機関・企業・行政などの情報交換と交流の機会を提供する「環境活動の中間支援拠点」です。
<お問い合わせ先>
TEL:082-511-0720
Eメール:info@epo-cg.jp
http://www.epo-cg.jp

京橋川かわいあしがるクラブ



<活動紹介>
広島市中区白鳥九軒町に残る自然河岸をフィールドに、年に数回イベントを開催しています。アシの刈り取りやアシ舟の製作・乗船をはじめ、カヌー体験や、アシで組み上げた干潟とどん祭などを行い、川に親しみ遊びながら自然体験や環境について学習をする機会を設け、まちづくり・人づくりに生かす活動をしています。
<お問い合わせ先>
TEL:082-221-5943
(広島市中央公民館と共催しています)

NPO法人 自然環境ネットワークSAREN



<活動紹介>
当会は、主に瀬戸内海西部の海岸保全及び瀬戸内海周辺の文化・歴史継承の活動をされており、広島湾では、漂着ごみ調査、アオサ類の分布調査、宮島一周クワーン作戦や子供たちの環境教育、エコツアーの企画・運営、地域振興(町おこし)などの活動を行っています。
<お問い合わせ先>
TEL:082-542-5380
Eメール:wil@proof.ocn.ne.jp

NPO法人 瀬戸内里海振興会



<活動紹介>
高度成長期における開発により、干潟の持つ様々な機能が失われると共に、人々が海から離れたつらあります。
当会は、人工干潟を中心に環境学習を実施するとともに、地域の方々や干潟においてありとろりを中心とした親水活動が図れるよう漁協・地域の融合を目指し里海活動を行っています。
<お問い合わせ先>
TEL:082-298-1221
Eメール:office@satsumi.org

(公財) 日本釣振興会



<活動紹介>
日本釣振興会では、健全な釣りの普及活動にとどまらず、釣りを楽しめる豊かな水辺環境の保全活動、種魚や弱放流による魚資源の増殖活動、釣り場の規制に対する行政との話し合い、また釣りを楽しめる釣り公園や釣り施設の設置要望等、釣り場を確保するための活動を行っています。
<お問い合わせ先>
TEL:082-238-7667(広島県庁)

NPO法人 ひろしまNPOセンター



<活動紹介>
広島県内のNPO法人の設立・組織運営の支援や助成金申請アドバイスを実施する中間支援組織です。行政や企業と連携しながら、①情報提供、②民間非営利活動・ボランティア団体の運営支援、③調査・研究・政策提言、④啓発・研修、⑤ネットワーク・連携推進事業を柱に地域資源とNPO活動を繋げる役割を担っています。
<お問い合わせ先>
TEL:082-511-3180
Eメール:info@npc.or.jp

広島県釣りインストラクター連絡機構



<活動紹介>
公的資格である釣りインストラクターによる団体で、川や海の釣り人に対する釣りの技術、釣り場でのマナーやルール、水産資源保護意識の向上や環境保全等について指導しており、広島県内のそれぞれ地域、学校などで開かれるイベントや釣り場清浄、環境保全活動などに積極的に参加・指導しています。
<お問い合わせ先>
http://www.hishimasamune.co.jp/jofi/

NPO法人 もりめイト倶楽部Hiroshima



<活動紹介>
森林づくり・里山づくり・まちづくり・環境づくりを、技術を磨き、学び、楽しみながら活動している森林ボランティア団体です。
間伐・枝打ち・里山の手入れ、植樹などを主にしています。また、地域貢献の例会(第4日曜)や4つの部会(出前間伐・里山・クラフト・環境教育研究)など多彩な活動を展開しています。
<お問い合わせ先>
TEL:090-6419-7531
Eメール:info@morimate-ch.com

NPO法人 ゆあーず「食」未来研究所



<活動紹介>
生きる基本である「食」を見直し、より安心安全で健康的な食生活および身体づくりの推進や情報の提供、加えて環境の保全に取り組むことを目的に、「ゆあーずの森づくり」や「都市と農村の交流エコツアー」、「宮島ミゼロウォーク」への参加など、行政や地域の皆様と協働して環境保全活動を行っています。
<お問い合わせ先>
TEL:082-261-6850

私たちの広島湾を次世代へ

広島湾再生行動計画

HIROSHIMA BAY RENAISSANCE PROJECT

広島湾再生行動計画 第2回中間評価の結果

広島湾再生行動計画

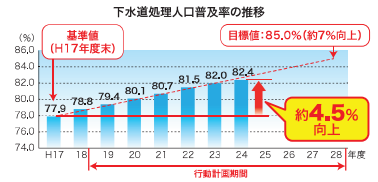
目標1 森・川・海の健やかな繋がりを活かし、豊かな広島湾を保全・再生する。

水環境の再生

これまでの取り組み

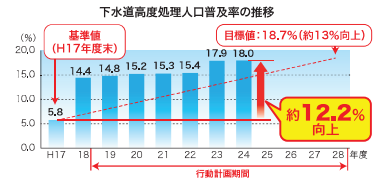
① 汚水処理対策、合流式下水道の改善

行動計画に沿って、下水道整備や合流式下水道の改善が進んでいます。



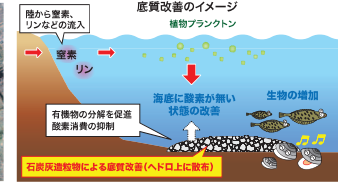
② 下水道の高度処理化

行動計画に沿って、高度処理化が進んでいます。

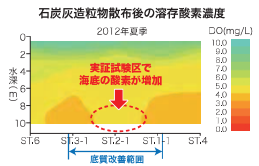


③ 底質(ヘドロ)の改善

海田湾における石灰灰造粒物を用いた底質改善実験(中国地方整備局)が完了し、海底付近の溶存酸素の増加や生物生息環境の改善など、一定の効果が確認されました。



魚の餌となる底層生物が増加



石灰灰造粒物とは? 火力発電所で発生する石灰灰とセメントを混ぜて固化したリサイクル材料で、底質のヘドロを改善する効果があることが確認されています。

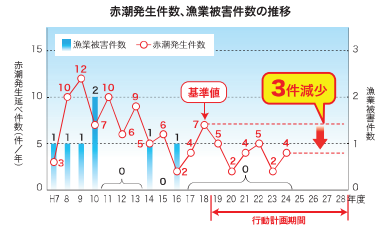
<評価の凡例>

- <これまでの取り組み> ●...現時点で目標を達成 ●...着実に施策が進捗している ▲...目標の達成に向けてさらなる実施が必要
- <広島湾の状態> ▶...状態が改善傾向 ▶...状態が概ね維持されている ▼...状態の改善が必要

広島湾の状態

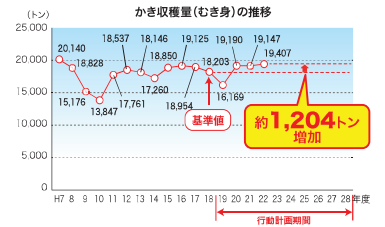
赤潮の発生状況

発生件数は減少傾向で、行動計画策定後は漁業被害も発生していません。



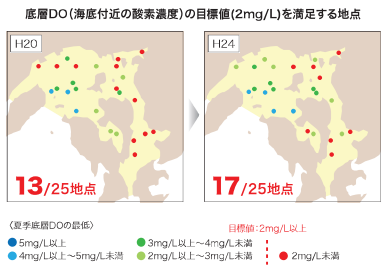
かきの収穫量

最近では漁業被害を受けることなく、収穫量も毎年2万トン前後に維持されています。



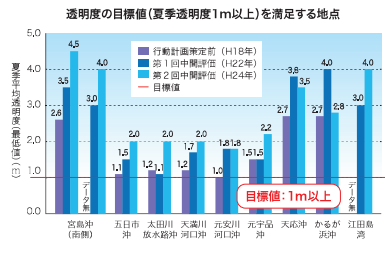
海底付近の酸素量

海底付近の酸素濃度の目標値(2mg/L以上)を満足する地点は、25地点中17地点でした(平成24年度)。



親水空間周辺の透明度

全ての地点で、目標値(夏季透明度1m以上)を満足していました(平成24年度)。

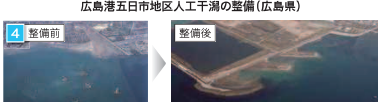
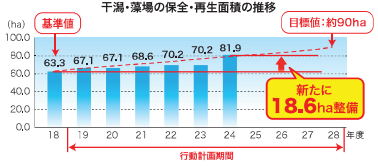


生物生息・生産の場の保全・再生

これまでの取り組み

④ 干潟・藻場等の保全・再生面積

平成24年度までに、81.9haの干潟・藻場の整備が完了しています。



⑤ 生物に配慮した護岸等の整備

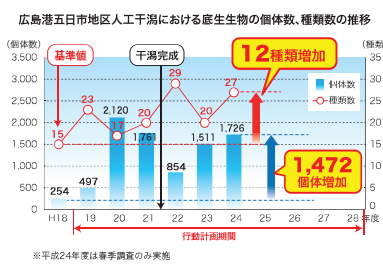
広島港海岸において、平成24年度末までに目標1,200mのうち、940mの整備が完了しています。



広島湾の状態

生物の種類数、個体数

平成21年度に完成した五日市地区人工干潟では、生物の種類数・個体数ともに増加しています。



の主な取り組みマップ



- 〈凡例〉
- 世界遺産区域
 - ラムサール条約湿地区域
 - 瀬戸内海国立公園(極域指定地域)
 - 自然海浜保全区域
 - かき養殖の場所

※広島湾の大部分の海域は瀬戸内海国立公園(海域指定地域)に指定されている。

広島湾再生行動計画 第2回中間評価の結果

目標2 人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。

- 〈評価の凡例〉
- 〈これまでの取り組み〉
 - …現時点で目標を達成
 - …着実に施策が進捗している
 - △ …目標の達成に向けてさらなる実施が必要
 - 〈広島湾の状態〉
 - ▲ …状態が改善傾向
 - …状態が概ね維持されている
 - ▼ …状態の改善が必要

これまでの取り組み

野鳥園・緑地、親水護岸等の整備

平成24年度までに、緑地・野鳥園は、目標3箇所のうち1箇所の整備が完了(2箇所計画)し、親水護岸等については、目標1,200mのうち905mの整備が完了しています。

海洋レクリエーション拠点の整備

平成24年度までに、目標1箇所の整備が完了しています。

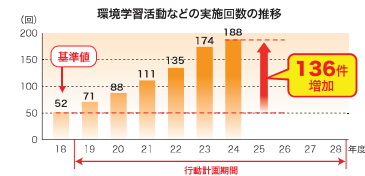
眺望点の整備・修復

平成24年度までに、目標2箇所の整備・修復が完了し、さらに1箇所を整備を実施しています。



環境学習活動などの推進

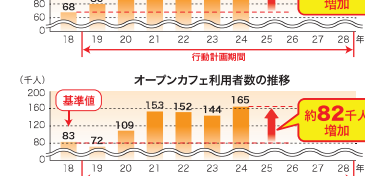
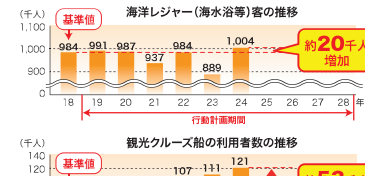
行政機関やNPO団体などが連携して取り組みを行ったため、着実に増加しています。



広島湾の状態

海洋レジャー客数、親水施設の利用状況

オープンカフェ、クルーズ船などの新たなレジャーを中心に、海洋レジャー客や親水施設の利用者数は増加しています。

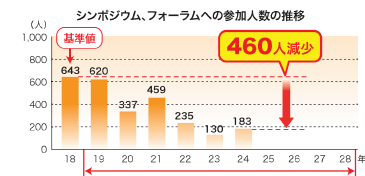


市民連携によるイベント等の新たな取り組みが増加



シンポジウム、フォーラムへの参加人数

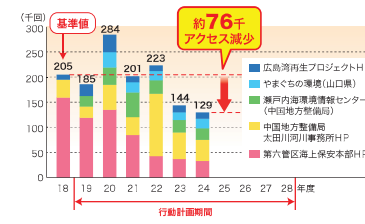
広島湾の保全・再生に関するシンポジウム等の開催は減少しています。



ホームページへのアクセス数

近年、広島湾及び流域の環境情報に関するホームページへのアクセス数が減少しています。

広島湾及び流域の環境情報に関するホームページへのアクセス数の推移

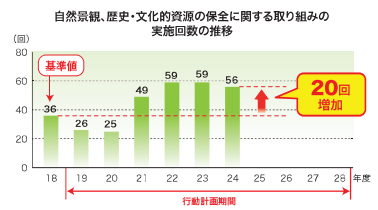


目標3 宮島などの魅力ある自然景観、歴史・文化を活かし、美しい広島湾を保全する。

これまでの取り組み

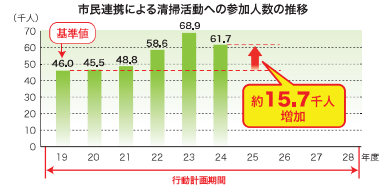
住民参加による自然景観、歴史・文化的資源の保全活動

平成21年度以降は取り組みが増加し維持しています。



市民連携による清掃活動への参加人数

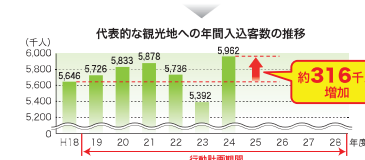
平成24年度はやや減少しているものの、平成19年度以降、着実に増加しています。



広島湾の状態

代表的な観光地への年間入込客数

平成23年度に震災の影響で減少したものの、平成24年度は再び増加しています。



自然海岸などの保全状況

NPO やボランティアの清掃活動により、観光地や海岸が美しく維持されていますが、一部の海岸で漂着ごみが見られます。

